

協会ニュース

平成 28 年 9 月 5 日
中国地区品質経営協会
広島市西区横川町 3 丁目 5 番 9 号 (世良ビル 404 号)
TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845
e-mail qmac@a1.mbn.orjp URL http://qmac.jp/

平成 28 年度 第 1 回シンポジウム「市場創造と技術革新」

開催日時 : 平成 28 年 9 月 2 日 (金) 13:20 ~ 17:00
場 所 : 広島商工会議所ビル 1 階 101 会議室
参加者 : 23 企業・団体 159 名

急速に発展する ICT (Information and Communication Technology) とモノ・ヒト・コトを融合させる IoT (Internet of Things) に注目が集まっています。「ものづくり」やサービスの品質・コストの改善、顧客満足の上をさらに進めて行くうえで、IoT の活用が避けられない状況になりつつある中で、活用方法がわからない、進まないなどの課題があります。本シンポジウムでは、IoT 活用の材料、ヒントとなる事例、取り組みについて、2 つの企業にお越しいただき、ご講演いただきました。

シンポジウム当日は 23 企業・団体 159 名と多数の方にご参加いただきました。

講演第 1 部では、「イノベーションを加速する IoT 実践事例と富士通の取り組み」と題して、富士通株式会社 ネットワークサービス事業本部 IoT ビジネス推進室 インテグレーション部長 黒下 和正 様に、IoT 活用によるモノ、ヒト、コトのつながりで新しい価値を生み出す実践事例と「ヒューマンセントリック IoT」を目指す富士通株式会社の取り組みについてご講演いただきました。

講演第 2 部では、「エネコムが描く、セキュアで安定した IoT ソリューション」と題して、株式会社エネルギー・コミュニケーションズ 営業本部 法人営業部 ICT 営業技術チーム マネージャー 増田 剛洋 様に、IoT プラットフォーム「FogHorn」を用いた製造業における運用事例、IoT 活用による製造・プラントにおける予兆検知モデル、経営課題の解決についてご講演いただきました。

お二人の講演後、広島工業大学 情報学部 教授 長坂 康史 先生をコーディネーターとして迎え、パネルディスカッションが行われました。会場から寄せられた多くの質問に講演者が回答することで、講演者の本音が伺うことができ、その結果、講演内容の深堀りが行われ、参加者の理解もより深まりました。

アンケート結果では、「理解が深まった」「小さく始めて広げていくという考えに共感した」「もっと実施例を知りたい」などの感想が寄せられ、非常に有意義なシンポジウムになりました。



富士通
黒下 和正 氏



エネルギー・コミュニケーションズ
増田 剛洋 氏



パネルディスカッションの様子
(左からコーディネーターの長坂氏、黒下氏、増田氏)